

a la carte.

2021.5

あらかると

412



地域密着型スーパーマーケット いちい

地域密着型スーパーマーケット いちい

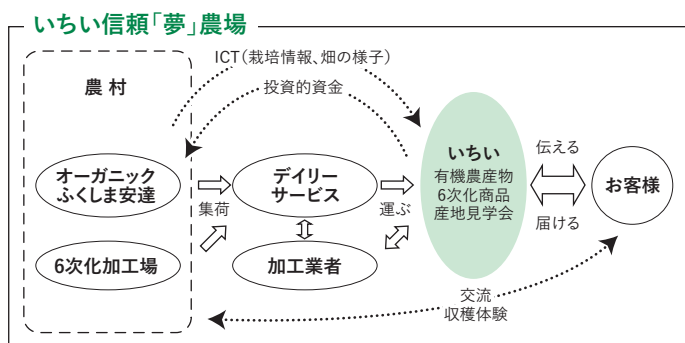
1892年に海産物商として創業以来、福島県北地区を中心にスーパーマーケット事業などを展開しています。「こだわり」と「チャレンジ精神」を持って、地域の皆様に支持いただけるような店づくりをしていながら、食を通して感謝と真心を次の世代に受け渡す企業を目指しています。



地元産有機野菜への取り組み

安心、安全への関心が高まり、世界的なオーガニックの潮流を受け、有機農産物はお客様より然るべく評価を受けていましたが、鮮度・品質が価格と釣り合わず必ずしも満足できるものではありませんでした。そこで、地元でオーガニックの産地を育て、高品質・高鮮度の有機農産物を安定的に確保し提供する、畑から食卓までを繋ぐ取り組みとして、2014年にオーガニックふくしま安達、デیلیーサービスと連携し流通モデルの構築をしました。

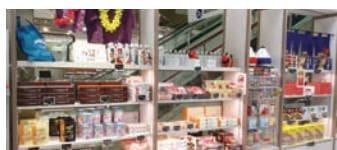
また、単なる商品の販売で終わらないように、お客様とのコミュニケーションも大切にしており、消費者を畑にお招きして有機野菜の収穫体験の実施をしています。



現在、食品ロスを減らすための取り組みとして規格外キュウリを漬物に加工していますが、今後は様々な有機野菜を活用した六次化商品の開発を進めていきます。

いちい街なか店オープン

昨年8月に中合が閉店した事で人通りが減った福島市の駅前通り。魚屋時代に中合に出店していた経緯と、なによりも地元福島の街なかに再び賑わいが戻りますようにと思いを込めて、いちい街なか店が昨年12月にオープン。地元の特産物を多く取り入れる事で福島の生産者と消費者を繋ぎ、中合のオール福島の考えをきちんと引き継いだ地元の直売所となっています。



▲ふくしまの銘菓ブース、ふくしまの企業スペース



▲福島のお酒を豊富に揃えたお酒館



福島市民からは是非開催して欲しいとの声が一番多かったのが物産展です。物産展を開催するためにスーパー業務とは全く異なる物産展のノウハウを取得。連日たくさんの人に足を運んで頂きました。

桜の聖母短期大学×いちい コラボ弁当

桜の聖母短期大学の学生さんがグループごとに開発、プレゼンをしたお弁当を社内で厳選し、商品化して店頭販売しています。



みんなでアイデアを出しながら考える楽しさ商品を作る大変さを学びました。



学生さん達の新鮮なアイデアに毎回驚かされます。



障がい者支援

福島市によると新型コロナの影響で市内50ある就労継続支援事務所のうち、16事業所が前年比で収入が半分以下になった月があると回答。販売機会が大幅に減っている障がい者施設製品の販売を支援するため、いちいの店舗で製品を常時販売する事で地域貢献と地産地消を進めています。



▲本格的な販売を前にいちい街なか店で障害者施設の製品販売イベントが開かれました。

福島への思い

震災から今年で10年。改めて福島は豊かな土地だという事に気づかされました。

海があり山もあり農作物も特においしい。だからこそこの土地をより大切にしていきたいと思いました。そして土地だけではなく、福島のみなさまには精神的にも豊かになって欲しいと願います。



株式会社いちい
専務取締役
伊藤 大地さん

震災で本当に苦しい思いをし、それを乗り越えてきた私達だからこそ、新型コロナの影響も福島を中心に大丈夫だということを発信していけたら…。まだまだ心配な事も多いですが心からそう願います。

(株)いちい

〒960-2101 福島県福島市さくら一丁目2番地の1
TEL:024-594-1111
<http://www.ichii-yume.co.jp>

